

日本の創業者

—近現代起業家人名事典



日外アソシエーツ 編 A5・510頁 定価(本体14,200円+税) ISBN978-4-8169-2239-8 2010年3月刊行

最大人数を収録！ 江戸時代からの起業家を
横断検索できる初のツール

■東証非上場を含む、日本の主要な有力企業800社を創業した865人を一望できる人名事典です。

経営学・産業研究・経済史の人物調査に…

■企業名の50音順に、創業者の生没年月日、出身地、肩書、学歴、経歴および人物像がわかる創業エピソードを掲載。また、現存者にはアンケートを行い、最新かつ詳細な情報を収録しています。

■旧社名や合併前の社名から引ける「企業名索引」「人名索引」付き。

【収録人物例】

廿日出要之進(アヲハタ) 殿岡利助(3代目)(アキレス) 福原有信(朝日生命保険、資生堂) 木村秀蔵(アース製薬) 堀禄助(アツギ) 山下太郎(アラビア石油) 石井太吉(石井鐵工所) 小菅丹治(1代目)(伊勢丹) 出光佐三(出光興産) 本庄正則(伊藤園) 伊藤伝三(伊藤ハム) 因幡弥太郎(因幡電機製作所) 岩波茂雄(岩波書店) 江崎利一(江崎グリコ) 福井直吉(江ノ島電鉄) 岡本一太郎(岡本硝子) 沖牙太郎(沖電気工業) 小野義一郎(小野測器) 長瀬富郎(花王) 一力健治郎(河北新報社) 井深大、盛田昭夫(ソニー) 後藤武夫(帝国データバンク) 森村市左衛門(TOTO) 高碓達之助(東洋製織) 相馬愛蔵(中村屋) 安藤百福(日清食品) 岩崎弥太郎(日本郵船、三菱商事) 大河内正敏(リケン) …など865人

創業エピソード

日本化学工業

内容見本

棚橋 寅五郎 たなはし・とらごろう

【生】慶応2年(1866年)9月4日
 【没】昭和30年(1955年)12月11日
 【出生地】越後国古志郡川西村(新潟県長岡市) 【家族】長男=棚橋幹一(日本化学工業社長)、孫=棚橋純一(日本化学工業社長)、岳父=銀林綱男(埼玉県知事)、女婿=大塚寛治(日本化学工業社長)
 【学歴】大学予備門(明治22年)卒、帝国大学工科大学応用化学科(明治26年)卒 【受賞】帝国発明協会帝国表彰有功賞(大正8年・昭和7年)、帝国発明協会地方表彰優等賞(大正11年)、帝国発明協会地方表彰特等賞(昭和10年)、帝国発明協会名誉大賞・恩師記念賞(昭和13年)、紺綬褒章(昭和17年)、藍綬褒章(昭和19年)、軍需大臣表彰(昭和20年)、発明協会発明功労者表彰(昭和25年)、勲三等瑞宝章(昭和30年)

生家は庄屋の家柄で、5人きょうだいの二男。小学校卒業後、与板の呉服屋に丁稚奉公に出たがすぐに奉公先を飛び出し、小学校の代用教員となった。1年後に退職して儒学者・斎藤赤城についたが、長兄の配慮で長岡中学に進学。ここで英語を助教の橋本圭三郎から習った。明治17年1歳上の畏友・橋本の上京に刺激されて後を追いつき、成立学舎、大学予備門(第一高等中学)を経て、帝国大学工科大学応用化学科に入学。同期は西川虎吉だけであった。また、第一高等中学の同窓に正岡子規と夏目漱石がおり、大学時代は同郷の小野塚喜平次と3年間同じ部屋に同居した。卒業論文には海産からヨードカリを製造する研究を

▶15歳上の長兄・基一郎は、佐久間象山の高弟で“米百俵”の逸話で知られる越後長岡藩士・小林虎三郎の薫陶を受け、弟の寅五郎によく師の受け売りで“How to liveの問題が最も大切で、いたずらに空論にふけらず実学を志して利用厚生を講じるように”と説いていた。そのため漢学書生から工科大学に進み、応用化学を専攻するに至った。そして卒業論文のテーマを選ぶ際、自国に産する資源を活用して製品を作り、自国内の需要を満たした上で、さらに輸出にまで発展させたいと考え、四方を海に囲まれていることから豊富に産する海藻からヨードカリを製造する研究に取り組んだ。卒業すると実業界に進んで研究の事業化を図り、資産家の竹原雄之助を金主、弁護士の上川勇次郎を経営者に、自分は技術担当者として棚橋製薬所と麻布製薬を起こした。立川は弁護士ながらおおざっぱな性格で、工場の建設中に寅五郎が帰省から戻ってくると、工場に大きなレンガ煙突が出来ていた。寅五郎は、

2017.2

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
 〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名	日本の創業者—近現代起業家人名事典	冊
	定価(本体14,200円+税) ISBN978-4-8169-2239-8	
注文書	■お名前	